

第2次草津市協働のまちづくり推進計画に関する 主な意見と計画への反映

資料6

1. 庁議における審議経過

草津市協働のまちづくり推進本部会議（令和元年11月18日(月)）	
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ① 計画本編に「第5次草津市総合計画」との記載があるが、第2次計画期間中に「第6次草津市総合計画」になるが、記載内容を検討すべき。 ② 長期的な取組について掲載しているが、担い手の候補者の方が担い手として活動していただける短期的な取組を検討すべき。 ③ 重点項目⑤について、市の人的支援としてどのように協働体制を整備していくのかまだ確立されていない中で、協働担当だけを配置するのはいかがなものか。
計画への反映	<ul style="list-style-type: none"> ① 「第5次」や「第6次」を削除し、「草津市総合計画」に統一。 ② まちづくりの活動に興味のある関心層に、市民活動や協働の場へ参加していただく機会の提供について追記。 ③ 協働担当についての記載を削除し、体制強化についての説明を追記。

2. 議会における審議経過

総務常任委員会協議会（令和元年11月26日(火)）	
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ① 「市民主役のまちづくりが進んでいると思う市民の割合」の現状が18.2%で目標が22%というのは低い。 ② 自治会に属さない方が無関心層という説明があったが、自治会等の組織に属さず、様々な活動に参画する方が増えているように感じる。
計画への反映	<ul style="list-style-type: none"> ① 5年前からの伸び率を倍にし、目標値を設定。 ② P12のまちづくりの関心についての説明文や図の表記を修正。

3. 審議会における審議経過

草津市協働のまちづくり・市民参加推進評価委員会（令和元年12月6日(金)）	
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ① 市民の定義について、「市内で活動する団体」とすると個人ではなくなってしまうのではないか。 ② P13の5行目「行政職員がアドバイザーやコーディネーター役を担う必要がある」とあるが、職員が市民に頼ることもあるのではないか。 ③ P22の主な方向性について、「生徒や学生に地域活動への参加を促す取組が必要です。」とあるが、もう一步踏み込んでいただきたい。 ④ 男女共同参画について記載していただきたい。
計画への反映	<ul style="list-style-type: none"> ① 「団体」を「者」に修正。 ② 「行政職員がアドバイザーやコーディネーター役を担う必要が生じることがあり得る」に修正。 ③ 「参加」を「参画」に修正。 ④ P18の市民について、男女共同参画に関する説明を追記。

・草津市協働のまちづくり推進本部幹事会（12月17日）からの意見と修正はなし